

東京都商工会報

題字は、山下光一前名誉会長

2005年
5月号
Vol.
263

発行所：東京都商工会連合会

〒190-0012 東京都立川市曙町3-7-10 多摩中小企業振興センター内 発行人：桂 教夫
TEL 042-525-6821 FAX 042-525-0899 <http://www.shokokai-tokyo.or.jp/> 印刷所：(株)アトミ



ない
ない
よう

- ◆ 第2回臨時総会開く
- ◆ 桂会長が金融審議会委員に就任
- ◆ 初の「商店街シンポジウム」開く
- ◆ 「商業まちづくり」で条例
- ◆ 設立30周年記念事業を挙行
- ◆ 人事

第4回たま工業交流展・昭島

3月4(金)、5(土)の両日、昭島市の昭和の森スポーツセンターで開かれた「第4回たま工業交流展」は、両日で8,500人が訪れ、参加者は多摩地域で生み出された先端の技術・製品を熱心に見て回りました。

広く展示会が注目されている証か、遠くは静岡県磐田市から訪ねたという中小企業の社長さんもいました。4日は営業が、5日は設計や資材担当の人が多かったようです。

「子供のはんだ付け教室」に挑んだり、小型ロボットのリモコン操作に夢中になる子供さんの姿も見られました。(6面参照)

第二回臨時総会を開く

17年度事業計画・予算を満場一致で承認



三月二十八日、立川市内の東京都多摩中小企業振興センターで十六年度第二回臨時総会を開き、「厳しい環境の中、魅力ある商工会を目指して各商工会と東京都商工会連合会とが密接な連携を取りながら重点事業を中心に積極的に事業展開を図っていく」とする平成十七年度の事業計画と一般会計収支予算を満場一致で承認、決定するとともに、全役員が新年度に向け事業に取り組む決意を新たにしました。

魅力ある商工会へ
13の重点事業を積極展開

総会には事業計画、一般会計収支予算のほか、「人事の一元化」、「補助金の一括受け入れ」を四月一日から実施することに伴う規約の改正など全部で九件の議案を上げ、全会一致で承認、可決しました。これにより商工会改革の第一歩となる人事の一元化、補助金一括受け入れについて手続き全てが整い、一元化、一括受け入れが正式に動き出しました。

桂会長は議事に先立ち挨拶をし、「サービス業が非常に多様化している。そういうサービス業の人達にも商工会に入ってもらうことは、歓迎

会員拡大を呼び掛け 桂会長

十七年度重点事業

一、商工会等改革の実行 四月一日から実行される改革の大きな柱の一つである「人事の一元化」、「補助金の一括受け入れ」が円滑に推進されるよう体制整備を図るとともに、改革実行推進本部のもと、引き続き実

することであり、商工会が変わっていく大きなチャンスになる」と語り、会員の拡大を強く呼び掛けました。

また、予算が大幅に増えた、東京都の「元気をさせ商店街事業」について「本当に関係を持って我々の意思を反映していきたい」と述べ、商店街の活性化にこれまでより踏み込んでいく姿勢を明らかにしました。十七年度の重点事業は商工会等改革の実行など十三件で、別掲の通りです。

総額三億六千二百二十五万円の一般会計収支予算の編成に当たっては、①重点事業を中心とした事業の推進②人件費の抑制③収益事業の強化——を編成方針としました。

行プロジェクトを開催し、更なる改革を推進する。

二、組織再編の整備 略

三、財政基盤の強化 略

四、人事の一元化・補助金一括受け入れに伴う指導体制の強化 略

五、効率的指導事務システムの本格運用による商工会事務標準化の確立 略

六、時代に即応した役職員の資質向上対策の推進 略

七、創業・経営革新の充実強化 創業支援及び経営革新を充実強化する



総会で挨拶をする桂会長

ため、商工会が実施する創業支援事業と連携を図りながら、創業希望者をフォローする移動窓口相談会を開催するなど商工会の事業を後方支援する。連合会においては、起業家向けなど受講者別・業種別の専門的テーマ設定を創意工夫した創業支援セミナーを開催する。

金融支援を強化

八、多摩地域の産業振興を図るための商工会・商工会議所との連携強化
多摩地域経済の活性化を推進するためには商工会・商工会議所の連携

を強化する必要がある。引き続き多摩経済サミットを開催し、共通課題解決に向けた提言及び具体策を検討する。また、昨年度の多摩経済サミットにおいて、設立が決議された「多摩地域観光協議会」の具体的活動方針及び多摩地域の観光資源の可能性等について調査・研究を実施する。

九、島嶼地域の産業振興策の推進

島嶼地域には、離島特有の課題を多く抱えており、その解決に向けた取り組みが必要不可欠である。

平成十七年度、十八年度の二年間を対象にした「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」が三月二十九日、金融庁から発表されましたが、この策定に当たり開かれた金融審議会（内閣総理大臣、金融庁長官、財務大臣の諮問機関）金融

分科会第二部会「リレー・アクションシップバンキング

地域密着型金融機能強化で意見 桂会長が金融審議会委員に就任

のあり方に関するワーキンググループ」（座長＝堀内昭義中央大学総合政策学部教授）に桂教夫会長が委員として参加しました。

これは二月二日、小泉総理から金

融審議会専門委員に任命され、参加したものです。商工会関係者が金融審議会の委員の任命を受けるのは初めてのことです。

なお、今回の新プログラム策定でワーキングは二月七日から三月二十四日まで六回、中小業者をはじめとした地域金融機関のエンドユーザーの声を聞く地方懇談会は福岡市と大阪市とで二回開かれています。

また、新アクションプログラムについては事業再生や中小企業金融円滑化のために①創業・新事業支援機能等の強化②取引先企業に

対する経営相談・支援機能の強化③事業再生に向けた積極的取り組み——を推進していくとしています。

十、三宅村帰島に伴う特別経営指導の推進 帰島に伴い商工業者の事業再開の支援策として「特別経営指導支援体制」を立ち上げ、三宅村商工会と連携・協力しながら経営安定のための特別経営指導を実施。内地に残る商工業者に対しての経営指導についても引き続きの支援を行う。

十一、経営・技術強化支援対策事業 小規模企業等の経営及び技術の向上を支援するため、専門知識を有するエキスパートを派遣し、具体的・実践的な相談指導を行うとともに、より専門的相談指導への対応を可能にする。

十二、中小事業者への金融支援強化 平成十六年十二月に中小企業金融円滑化のため、地元信用金庫と提携し、商工会メンバーズビジネスローンの取り扱いを始めたが、本年度はさらに四月開業予定の新銀行東京と融資案件紹介の提携をはじめとし、地域金融機関との連携強化に努め、会員事業所を支援する。

十三、政策提言及び意見活動 多摩・島嶼地域の地域総合経済団体として、政府・与党及び東京都等に対して中小企業政策・税制改正などについて、政策提言及び意見要望をとりまとめ、その実現に努める。

『大型店対策は、要は『人』』初の「商店街シンポジウム」開く



熱い議論が行われたシンポジウム

三月二十二日、立川市内の立川グランドホテルでどうすれば商店街の活性化が図れるかをテーマに、初めて「商店街シンポジウム」を開きました。意欲的に取り組んでいる多摩地域の三つの先進事例発表とこれを受けたパネルディスカッションを行い、コーディネーターが「大型店

に勝つようにすることはコミュニティを創り直すか、あるいは文化を継承し、新しくしていくかという問題。その元になるのは人の力だ」と総括しました。

シンポは商工会役員の勉強会として開きました。事例発表では亜細亜大学の八田浩康地域学公連携推進室課長が「味の素スタジアム」のある京王線の飛田給と日の出町とで地元商店街などと共同で実施している産学公連携事業を発表しました。国分寺市商工会の苮木裕経営指導員は、国分寺市商工会がリードし、国分寺駅周辺で実施している地域環境改善活動を明らかにしました。木滑恭子ヨルイチ実行委員会委員長は一万八千の人を集め、大成功させている、五日市地域活性化事業のヨルイチ事業について語りました。

パネルは事例発表者の三人に五十嵐一典国立市商工会会長も加わって四人がパネリストとなつて行いました。コーディネーターは建築家の小宮和一氏。

五十嵐会長は三鷹―立川間が立体交差化する平成二十二年を目標に平成十三年から取り組んでいる国立の街づくりや、「国立ブランド」の確立について明らかにしました。桂東

京都商工会連合会会長はシンポに先立ち「商店街シンポは長年の懸案であった。なかなかできなかった」と

した上で「一つでも二つでも（勉強したこと）を持って帰って実行していただきたい」と挨拶しました。

「商業まちづくり」で条例 商工会の要望が実現

武蔵村山市

市内の日産村山工場跡地に超大型商業施設が来秋、オープンするのを受けて、武蔵村山市は、大型店が商工会に入って地元とともに地域の活性化に取り組みよう求める条例を公布、施行しました。これは超大型商業施設の誕生に「死活問題だ」と強い危機意識を持った武蔵村山市商工会と武蔵村山市商店連合会が昨春、市に要望。この要望を実現する形で条例化したものです。

任を認識、地域社会への貢献に配慮しなければならぬ③犯罪の予防などのために深夜における営業を自粛するなどの措置を取るよう努める―などとしており、賑いづくりや青少年の健全育成、防犯などまちづくりに大型店が積極的に関わるよう求めています。

多摩地域の自治体において地元とともに賑いづくりなど地域の活性化を図る「商業まちづくり」について大型店に協力を求める条例を施行するのは今回の武蔵村山市が初めてです。

当連合会は昨年末、多摩経済サミットにおいて商業まちづくりを実現していくため自治体に条例を制定するよう要望していくことを多摩地域の商工会議所とともに決議しており、今回の武蔵村山市の条例化を機に他の市町村でも続いて条例が制定されていくものと期待しています。

条例では①大型店は商工会に加え、商工会などと協力して地域産業の活性化に努めるのとする―としています。また、大型店は②社会的責

村山工場跡地に開業する店は核テナントが二つ、その他のテナントが二百でその売場面積は、今の武蔵村山市内の売場面積（大型店を含む）にほぼ匹敵する大きさです。

島しょ活性化会議を

開催

六商工会が報告

三月十一日、立川市の東京都多摩中小企業振興センターで島しょ地域の六商工会の会長らと、東京都の産業労働局観光部、商工部の担当者らが出席して平成十六年度の「島しょ商工会地域活性化対策研究会」を開きました。この会議は同地域の産業と観光振興を図る目的で毎年、開催しているものです。今回は、各商工会が島の経済環境やそれぞれで取り組む活性化策を報告、意見を交換しました。

会議では冒頭、桂教夫会長が「時代がどんどん変わっている。観光についても国内一本槍から海外にも目を向ける時代になっている。島しょ地域も海外からお客を呼べるよう、見直してみる必要がある」と挨拶。これに続いて東京都が十七年度に島しょ地域の活性化にどのような施策を取るかについて紹介、理解を求めました。活性化策の報告を行ったのは大島町、八丈町、三宅村、神津島村、小笠原村、新島村の六商工会。多岐にわたる報告から、その一

部をご紹介します。

▽「町制五十周年を迎えるためイベントなどで盛り上がるのではと期待している」(大島町)▽「一次産業をどう育てるかが大事。災害などに備えて食糧の備蓄に取り組んでいる」(八丈町)▽「一日でも早く観光」(新島村)

設立30周年記念事業を挙行事務局長協議会

東京都商工会事務局長協議会は、二月二十二日、国分寺駅ビルLサロ

ンで協議会設立三十周年記念事業を盛大に行いました。式典、記念講演会、祝賀パーティーという内容で、事業には桂教夫東京都商工会連合会長、寺田範雄全国商工会連合会専務



懐かしい顔がいっぱいの30周年

光に来ていただけよう頑張りたい」(三宅村)▽「観光に結びついた漁業、農業の振興が急務」(神津島村)▽「小笠原は正にエコツーリズム一色」(小笠原村)▽「楽天にお願いしてショッピングモール事業を立ち上げた」(新島村)

事務局長協議会

理事、各商工会会長ら来賓、現役の局長、局長経験者ら八十人が参加、盛大に三十周年を祝いました。

式典で山崎宮治会長(調布市商工会事務局長)は「先輩事務局長、多くの方のご尽力により本日を迎えることができた。本当に嬉しく思っている」とし、その上で「変革の時期、三十周年を契機として真に求められる商工会づくりに各商工会の事務局長ともども手を取り合い、職員とも一丸となって取り組んでいきたい」と新たな決意を述べました。続いて山崎会長に桂会長から東京都商工会連合会会長感謝状が、山崎会長から柳澤忠治氏ら九人に東京都商工会事務局長協議会感謝状が、それぞれ贈られました。

その後、桂教夫東京都商工会連合会会長が挨拶に立ち、桂会長は「商

工会というのは大きな扇の要の部分に事務局長さんがいる。是非、四十周年に向けて新しい出発をしていただくと同時に、今の時代にふさわしい商工会づくりにご協力を賜りたい」と話しました。続いて挨拶をした寺田範雄全国商工会連合会専務理事は「商工会の改革を進めるのにも事務局長さん達の役割というのは最も大きい。是非、結束を強められて、この地域の中小企業振興のために協議会がますます力を発揮されて大いに尽くしていただきたい」と呼び掛けました。

式典の後、小平に本社を置き、ジャスダック市場でその急成長ぶりが注目を集めている九九プラスの渡邊繁取締役管理本部長が「九九プラスの概要—shop99の目指すところ」をテーマに記念講演。

最後に祝賀パーティーが行われ、坂爪正二東京都商工会連合会専務理事が乾杯の音頭を取り、約二時間にわたって歓談、OB・現役らが挨拶を交わし、旧交を温めました。

協議会会長感謝状が贈られたのは次の各氏です。

▽柳澤忠治▽篠實▽田澤照雄▽鎌田修輔▽矢野勝蔵▽齋藤實▽梅田宏次▽植松喜一▽石川啓

「第4回たま工業交流展」

を開催

たま工業交流展実行委員会は三月四、五の両日、昭島市の昭和の森スポーツセンターで「第4回たま工業交流展」を開きました。「つかもう！ビジネスチャンス 多摩の未来

清瀬商工会は商店街に賑わいをつくり、地域を活性化させよう、と清瀬市の支援を得て「きよせチャレンジ・ショップ」事業をスタートさせます。市内最大の商店街で百三十の店がある「南口ふれあいどーり商店街」の空き店舗を使っ

て販売に挑戦をしてみようとの計画です。予定では三つの空き店舗を二つに分けてそれぞれ五、七坪としてチャレンジさせます。商工会ではこれにより賑わいを取り戻し、商店街を再生させたいとしています。

「呼び戻そう！賑わいを」

南口商店街でチャレンジ・ショップ事業をスタート
清瀬商工会

がここにある」をテーマに開いた同展には多摩地域だけでなく、埼玉県西部地区・山梨県からも参加があり、全部で二百十三企業・学校関連・協力団体が二百五十九小間に自慢の製品・作品を展示、PRをしました。当連合会も三小間を確保して「な

より空き店舗が目立つようになっていきます。

出店者へは家賃と光熱費を補助、月々三万円の負担で出店ができる仕組みです。期間は七月から来年の三月までの九カ月間。期間終了後は立ち退くことになりましたが、引き続き商店街の活性化のため、定着することを期待しています。

商工会では「何とか生鮮三品で挑んでもらい、商店街としての品揃えを充実。賑わいを呼び戻したい」と話しています。また、清瀬市がにんじん

生産高東京一の「野菜の街」ということで「きよせにんじんジャム」でPRしていますが、清瀬産野菜の直売所が商店街に定着出店することも期待しています。（4面に関連記事）

んでも相談コーナー」設置、独立開業、経営・技術強化、経営革新について相談を受けました。

式典には桂教夫会長ら多摩地区の会議所、商工会など経済団体のトップ、工業部会長ら大勢が出席、この中で岩崎泉実行委員会委員長（立川商工会議所会頭）が「二十二市・二町という大変、多くの広い範囲から参加いただいて昨年に続いて最大の多摩の工業展になったと喜んでい

都青連大会を初めて開催 地元商工会青年部活動を発表

東京都商工会青年部連合会は二月二十日、立川市内のザ・クレストホテル立川で「更なる仲間づくりに『他の単会の活動を知ってる……？。俺たちの単会を知ってよ！』をテーマに都青連大会を開きました。この大会は各商工会青年部が地域の振興・発展のために、取り組んでいる事業を互いに紹介。今後のそれぞれの活動の刺激にしようと初めて開催したものです。

大会には各商工会青年部から百二十三人が参加しました。大会は一商

工会青年部が三分の持ち時間でそれぞれの事業を発表していくという内容でした。

当日は沖山雅史副会長の開会の辞で始まり、杉崎吉則会長が「思い出に残る事業をしよう、と皆で考え、今日の企画を立てた。何かを持って帰れる楽しいものにし、大会を成功させよう」と会長挨拶。続いて来賓挨拶をした東京都商工会連合会の桂教夫会長は、商工会と会議所が共同して多摩の経済発展を検討する多摩経済サミットを引き合いに出して、関係者が協力して課題に取り組み、前進させていくことの重要性を説き、「そういうことからすると都青連大会は極めて意義深い」と激励しました。



熱いアピールが続いた大会

新銀行東京が営業を開始

新銀行東京（東京都千代田区大手町、代表執行役仁司泰正氏）が四月一日、まず本店の営業を開始しました。同行は、中小企業の潜在的な力を十分、発揮できる環境を整え、経済再生の確かな道筋をつくるために設立されました。債務超過でも安定的なキャッシュフローがあれば無担保で融資するなど、中小企業の自助努力のサポート役となることを目指しています。

拠点につきま

しては、四月一日にオープンした本店に続いて、

七月までに 立川に拠点

七月までに新宿、蒲田、錦糸町、上野、立川と開

業年度は六拠点オープンし、将来的には都内十拠点まで展開する予定です。

無担保・第三者保証人不要の、中小企業向け融資商品「ポートフォリオ」

は七月から取り扱いを開始、年四回、募集型の「技術力・将来性」は五月以降に第一回の募集を開始する予定です。

同行で行われた本店完成披露式典には、石原慎

太郎東京都知事、山口信夫東京商工会議所会頭らとともに、東京都商工会連合会からは桂教夫会長、坂爪正二専務理事が出席、同行のテーブルカットに参列しました。

席上、同行の仁司泰正代表執行役は「常に新しい銀行として、スピードと技術を軸に東京から日本を変えたい」と挨拶をしました。

東京都商工会連合会では、新銀行東京と全面的な協力体制を構築するために、昨年、同行と「基本合意書」を締結。今後、商工会連合会の会員向けの提携商品（メンバーズビジネスローン）を組成していくことで合意しています。



都知事らと桂会長（右から二人目）もテープカット

多摩・島しょ
地域のイベント

風薫る初夏。さあ 外へ。

大特集 Part4 (5月～6月)

	開催日	イベント名	会場	問合せ先	内容
5月	3日(火)、 4日(水)	観光朝市	黒根港駐車場	新島村商工会 04992-5-1167	地元産海産物、農産物などの販売。無料バーベキューコーナーもあり
	7日(土)、 8日(日)	子供フェスタ 2005	都立小金井公園 こどもの広場	子供フェスタ実行委員会 042-385-5611	大道芸・模擬店
	14日(土)、 15日(日)	青空市	国分寺駅北口	国分寺市商工会青年部 042-323-1011	市内商店による物品販売・国分寺産新鮮野菜の販売
	29日(日)	環境フェスタ in 国分寺	国分寺市 清掃センター	環境フェスタ実行委員会 042-325-0111	環境問題を考えるイベント・模擬店・フリーマーケット
6月	5日(日)	環境市民の 集い	東大和 市役所中庭	環境市民の集い実行委員会 042-563-2111	環境をテーマにした各種イベント
	11日(土)、 12日(日)	青空市	国分寺駅北口	国分寺市商工会青年部 042-323-1011	市内商店による物品販売・国分寺産新鮮野菜の販売
	18日(土)	ふくしまつり	国分寺市民 スポーツセンター	国分寺市社会福祉協議会 042-300-6365	バザー・模擬店他

人事交流

東京都商工会連合会と各商工会は四月一日付で、職員の定期人事を実施しました。

会員のみなさまにおかれましては、引き続き前任者と同様に「ご指導、ご協力をお願い致します。」

市町村名は商工会名です。①専経は専門経営指導員②商指は商工会指導員③経指は経営指導員④記専は記帳専任職員⑤一般は一般職員—の略です。



高橋 寿之
(狛江市)



菊池 武伸
(東久留米市)



坂和 俊一
(東大和市)

新事務局長 (地名は商工会名)



中村 親夫
(神津島村)



山岸 春彦
(小金井市)



高橋 道明
(福生市)

(4月1日)▽三鷹・記専(三鷹・一般)海老澤秀明▽清瀬・経指(あきる野・経指)水野宏一郎▽小平・経指(三鷹・記専)米光彰浩▽小金井市・事務局長(東大和市・事務局長)山岸春彦▽同・経指(国立市・記専)永須裕二▽同・補助員(新規採用)柴田総司

▽西東京・指導担当課長・主席経指(西東京・主席経指)設楽正広▽同・経指(日の出町・記専)田頭寿晃▽同・補助員(新規採用)久保田聡▽狛江市・事務局長(瑞穂町・主席経指)高橋寿之▽調布市・主任経指(清瀬・主任経指)池谷主税▽福生市・事務局

長(あきる野・事務局次長)高橋道明▽同・経指(稲城市・経指)山崎秀樹▽東久留米市・事務局長(稲城市・主席経指)菊池武伸▽同・補助員(東久留米市・記専)浦野久美子▽東村山市・指導担当課長・主席経指(東村山市・主席経指)伊藤清▽同・経指(東村山市・記専)柿沼尉也▽同・記専(新規採用)佐々木規之

▽国立市・経指(東村山市・経指)池田領司▽同・記専(小平・記専)小山正好▽同・補助員(国立市・記専)中山五月▽同・記専(都連・補助員)瀬戸緑

▽あきる野・指導担当課長・主席経指(都連・指導情報課長・主席商指)渡辺敏政▽同・経指(あきる野・記専)種子繁樹▽同・記専(新規採用)山尾聡美▽東大和市・事務局長(福生市・事務局長)坂和俊一▽同・経指(東大和市・記専)小野孝泰

▽武蔵村山市・経指(あきる野・経指)田中庸仁▽稲城市・主任経指(昭島市・主任経指)石坂裕二▽同・経指(国分寺市・経指)平野宗哲▽羽村市・経指(羽村市・記専)山口純▽同・記専(同・一般)春日文明▽同・一般(新規採用)市川保▽瑞穂町・経指(西東京・経指)伊藤彰彦▽同・経指(都連・専経)清水晋▽昭島市・経指(日の出町・経指)並木洋▽神津島村・事務局長(新規採用)中村親夫▽小笠原村・経指(新規採用)岩崎哲二

▽日の出町・経指(羽村市・経指)伊藤啓一▽同・記専(新規採用)村田恵美

▽都連・組織支援課長・局長兼務・商指(都連・広域指導センター室長・局長兼務・商指)星野厚志▽同・地域振興課長・主席専経(同・改革推進実行担当課長・主席専経)村野哲也▽同・専経(小笠原村・経指)小野寺崇▽同・商指(小金井市・経指)石川義則▽同・専経(国立市・経指)増尾徹▽同・総務課長補佐・主席商指(調布市商工会・主席経指)富安光次▽同・総務課・経理係長・商指(都連・商指)川鍋好弘▽同・補助員(小金井市・記専)福士祐子

【退職】小平・経指内田和美、小金井市・事務局長吉川裕之、同・補助員高橋和子、西東京・事務局次長深沢信夫、同・補助員風早真由美、狛江市・事務局長大島良正、福生市・経指石川啓、東久留米市・事務局次長嶋洋一、同・補助員森田千代子、東大和市・経指米原慎二、瑞穂町・経指西田栄男、神津島村・事務局長松浦虎次、都連・業務課長・一般小松靖夫、同・商指橋本勝、同・専経竹田秀徳

(12月31日)武蔵村山市・経指宮本政典
(1月18日)国立市・補助員高橋幸子
(1月31日)三宅村・事務局長山田祐璋、新島村・経指北村良枝